

解題凡例 【1】 ～ 【28】

◎第一のブロックには、書名見出しと、写刊の別、数量を示した。

・見出しの書名は、内題を優先した。

・題が無く認定題とする場合は「」を付した。

・数量の単位は、帖・冊の区別をせず、すべて冊と数え、冊・枚・軸でまとめた。

◎第二のブロックには、「書名よみ」「著編者」「写刊年次」を記した。

・「書名よみ」現代表記で記した。

・「著編者」作者名・編者名を記し、仮託されているものは「伝」を付けた。

・「写刊年次」写本は書写年次を、版本は刊行年次を記した。明記されていないものは推定した上で、「か」を付けるか、または（ ）を付して示した。

◎第三のブロックには、題名および著作注記を記した。

・題名は「外題」「内題」「その他題」に大別し、「その他題」においては、さらに〈尾〉〈版心〉〈小口〉などと明記した。

・年代や編著者など、題名に付して記される場合は、もとの状態を活かして、内題下、外題下などに記したが、題名がなく記される場合は、「著作注記」として別記した。

◎第四のブロックには、書誌情報を記した。

・「残欠状況」には、全て揃っていれば「全」、欠けているものは適宜それを記した。

・「保存状況」保存の状況を記した。虫損、汚損、疲れ、などを記し

た。「装訂」粘葉装・袋綴の別を記した。

・「丁数」丁数を記した。別途必要なものは紙数も記した。

・「本文用字」漢字・片仮名・平仮名・その他の別を記した。

・「一面行数」一面の行数を記した。必要なものは一行字数を付した。

・「界線」界線の有無を記した。界線がある場合は、界高・界幅を記した。

・「匡郭」版本の場合、匡郭の有無、匡郭の寸法を記した。

・「表紙」表紙の色・文様、料紙について記した。

・「法量」寸法を縦×横で示した。

・「料紙」料紙の種類を示した。

・「書入」本文の他に、書入があるかどうか、有無を示し、書入がある場合は、墨・朱の別や、その内容を示した。

・「表紙書入」所持者署名などの情報を記した。

・「印記」印記の情報を記した。印文、墨朱の区別、単郭・双郭の別、陽刻・陰刻の別、形（長方・方・円）などを記した。

・「備考」その他、特記事項があれば記した。

◎その他

・漢字の用字は、特別な場合を除き、通行の字体に改めた。

・虫損などで読めない文字は一文字の場合は□、二文字以上（字数不明）の場合は、「」で示した。